

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価評価票

				No.	29-001		
PDCA	事務事業名	図書館一般事務	部課等名	教育部 図書館	担当 内線等		
					野不雄 会 23-7171		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 1. 生涯学習 単位施策： (4) 図書館の利用促進 個別施策： ①子どもの読書活動推進					
	根拠法令等	図書館法、半田市立図書館条例					
	対象・目的	誰もが快適に利用できる図書館をめざす。子どもたちの読書活動を推進するとともに、ボランティアとの協働により、障がい者や高齢者を始めとする市民の図書館利用促進を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	読み聞かせ会を始め、ボランティア団体と協働で行う「としょかんまつり」など、図書館に親しみを持ってもらえる多彩な事業を実施する。巡回文庫や小中学校等に司書を派遣し、子どもたちへの読み聞かせやブックトーク（テーマに沿って、本を司書が選び、紹介すること）を通じて図書館に親しみを持ってもらい、ボランティア養成講座の実施により、読書推進の担い手となる新たな人材確保を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	30年度	元年度	2年度	単位	
		①としょかんまつり参加者数	2,658	2,058	—	人	
		②ちいさいちいさい読み聞かせ会参加者数	1,796	1,638	95	人	
		③あかちゃんとしょかん参加者数	493	511	111	組	
		事業費	5,675	7,293	7,434	千円	
		人件費	14,765	15,683	14,707	千円	
		総事業費	20,440	22,976	22,141	千円	
		活動単位当たりのコスト	30年度	元年度	2年度	単位	
	①市民一人当たりの図書館一般事務費	170	191	186	円		
	②						
	③						
	成 果	成果指標	30年度	元年度	2年度	単位	
		①年間入館者数	実績値	358,758	330,013	188,216	
			目標値	391,000	388,000	360,000	
②図書館事業参加者数		実績値	11,938	11,968	2,865		
		目標値	11,500	11,500	11,500		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C					
		コロナ禍により年間入館者数と図書館事業参加者数が大幅に減少してしまったが、臨時休館中でも図書館の本を借りたいとの声に応え、自宅で過ごす子ども達へ司書が選んだ「子どもの本おたのしみセット」の貸出を実施した。約2か月で計11,620冊を貸し出し、本に親しんでもらうことが出来た。再開後は、感染状況に留意し、対策を施したうえで、読み聞かせやブックトーク、あかちゃんとしょかんなどを実施したが、状況がなかなか改善しない中、何が出来るかの判断が難しく、行事の開催方法が課題となった。幼保・小中学校の保護者、児童・生徒等に向け読書に関するアンケートを実施し、現在の子どもたちの状況や保護者の意識を把握したうえで、図書館協議会や関係各課からの意見を踏まえ、「第2次半田市子ども読書活動推進計画」を策定した。アンケート結果から、前計画より成果数値が下がってしまったため、計画の実効性を高める必要がある。					
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進					
		新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等を縮小せざるを得ない状況だが、感染対策を徹底し、ボランティア団体等の協力を得ながら、一つでも多くの行事を開催していく。第2次半田市子ども読書活動推進計画に基づき、家庭・地域、保育・教育機関、図書館が連携して子どもたちの読書活動推進に向けた活動を進め、子どもたちに読書の楽しさや大切さを伝えていく。また、高齢者、障がい者、外国籍市民に向け、図書館サービスのPRに努め、図書館及び資料の利用を促進する。					
	令和3年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		①図書館事業参加者数		目標値	11,500	人	
		②		目標値		人	
	③		目標値				